

検討の枠組み

1 住宅政策を取り巻く主な状況を踏まえた検討

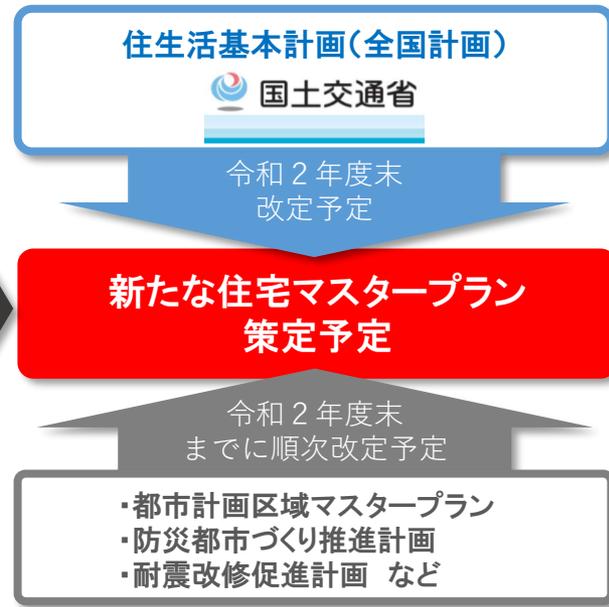
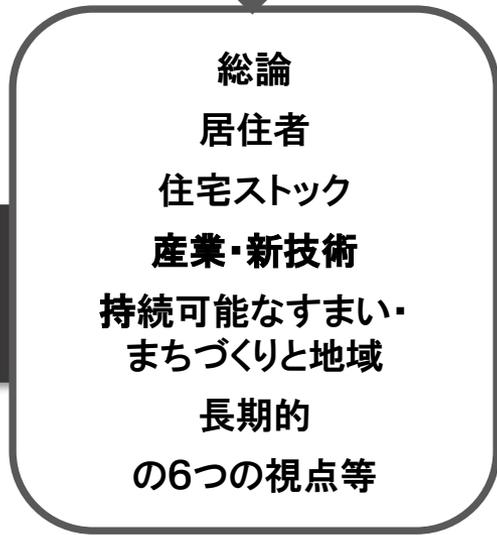
- 新型コロナウイルス感染症が及ぼす影響や社会・住生活の変革、居住者、住宅ストック等に関する社会・経済情勢の変化に的確に対応
- 昨年未策定された「未来の東京」戦略ビジョン、今後策定予定の長期戦略や住宅政策に関連する行政計画等との整合
- 住生活基本法に基づく全国計画である住生活基本計画との整合

2 現行の第6次住宅マスタープランの現状と課題の整理

3 多分野にわたる住宅政策を6つの視点等で検討

- 住宅政策全般に影響を及ぼす俯瞰的な視点(総論)
- 居住者の視点
- 住宅ストックの視点
- 産業・新技術の視点
- 持続可能なすまい・まちづくりと地域の視点
- 長期的な視点

新型コロナウイルス感染症の影響、近い将来の人口・世帯数の減少等、経済社会情勢の変化



人や地域に注目した住生活充実プロジェクト